



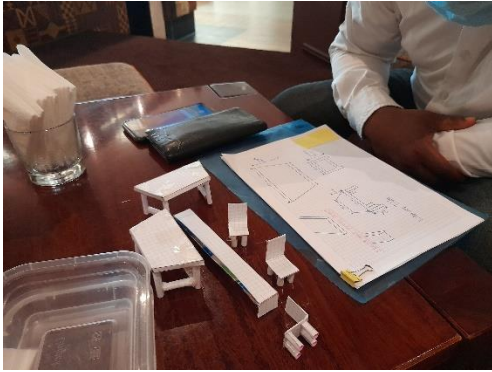
水洗トイレ付図書館建設プロジェクト Vol. 4  
～郷に入りては郷に従えと言うけれど～  
2021年7月12日報告



ここガーナには“そうは簡単に物事を進ませない妖怪”が棲んでいます。この妖怪は順調に進んでいるかと思えば突然嘲笑うかのようにその物事の進行を止めさせます。ガーナは様々なことが順調に進んだ試しがないと言っても過言ではなく、ガーナが好きと思えば思うほどこんなガーナなんて糞でも喰らえと暴言を吐きたくなることが起きます。報告書はリアルに起きていることを感情的にならず、かつ自分の言葉で書きたい、そんな思いでこれまでの報告書を書き、今回の報告書はその第四弾になります。持続化給付金を得てまたそれだけでは足りなく一般社団法人ギブアウェイ様のサポートのもとにこの水洗トイレ付図書館建設プロジェクト（プロジェクト当初は図書館建設プロジェクト）が始まりました。スプートニクの秋澤が絶対的に私を信頼し任せてくれたプロジェクト、またギブアウェイ様のご支援あってのこのプロジェクトは完成させることが第一のゴールであり、子どもたちのための図書館として利用され、本を読むことにより子どもたちそれぞれの将来の糧になり叡智が得られる場所として使われることが最終目標です。図書館を作りたいと想い続けていた10年、プロジェクトが開始した時、そして今もその想いは変わっていません。その想いのこもった図書館建設に“そうは簡単に物事を進ませない妖怪”が再び現れました。前回報告した時の最後の現場作業が6月25日の金曜日で7月2日（金）までしばらくまた現場作業は行われず、作業再開となったのは7月5日（月）になってからの事でした。



7月5日 コントラクターから現場作業が再開になったとワッツアップで連絡が入りました。



7月8日（木）午前 コントラクターに水洗トイレ設置代の残金を支払い、また図書館に置く机、イス、ベンチの話し合いをしました。午後はまた別のエージェントと図書館が完成した時に壁に貼る寄贈者ネームを入れたサインボードの打ち合わせをしました。この寄贈者サインボードにはギブアウエイ様のロゴも入ります。現時点でどちらも見積もりはまだきていませんが、今年度もギブアウエイ様から有難いことに活動資金を戴き、その活動資金を机イスベンチの購入そしてサインボードの支払いに使わせていただきます。机イスベンチそしてサインボードと図書館完成に向けて期待が高まってきた翌日にまさかの事態が起きているとは予想していませんでした。



7月9日（金）学校に着き、まず最初に気づいたのがトイレの窓の小ささでした。このトイレの窓の小さい点についてはすぐさまワッツアップで連絡をコントラクターに入れたところ、現場作業員のミスなので直させると返信がすぐありました。もう一つの異変は天井がブロックで塞がれている事でした。ガーナの建物（他の国がわかりません。）では、通常こうした天井部分をブロックで塞ぐのはさらに上に建物を建てる場合で一階建ての建物の場合ブロックで塞ぐことはしないで、屋根の骨組みが始まります。なぜこのようにブロックで塞いだのか？頑丈な建物にしてほしいとリクエストしたから天井にブロックを持ってきたのか？思っていると、校長から衝撃的なことを聞かされました。「トビィが将来的に2階建てにして1階を校長室にして2階を図書館にする考えでいる。2階建てにするお金はトビィが作る。手洗いスペースは外におくのはやめてトイレの中に持ってきて、外におくのはベロニカバケツにする。トイレはトシコだけが使う。」と。何を言っているか全く事の展開が

つかめない中「トイレはトシコだけが使う。」とうれしくもない声に「トイレはあそこ（離れにあるトイレを指さして）を私は使う。子どもも先生も使えないトイレをなぜ高いお金を出させて作らせた！！」と激怒してしまいました。この時間帯、激しい通り雨は雨脚が弱まり子どもたちは休み時間に入り、給食の配膳が天井部分がコンクリートで覆われたポーチでおこなわれていました。配膳するのはトビィ氏の娘二人。激怒している私を娘は笑って見ていました。この建物はいったい誰のために作るものなのだろう？と自問自答が始まります。この1か月あまり普段授業で廻らない小学生1年生から3年生まで絵本の読み聞かせを授業でおこなってきました。この日は校長から依頼されていて幼稚園時クラスで読み聞かせを行ない、子どもたちはそれぞれ自分でこぶたの顔を描いたものを大事に手にしていました。子どもにも先生にも絵本に触れることをしてもらいたい。特に小さな子どもには先生が絵本を子どもに読んであげてほしい。今は倉庫に置いてある書架を新設する図書館に移動させた時には、今よりも使い易い図書館にして、せっかくポーチが出来るのならここで絵本の読み聞かせや人形劇のカスパークシアターもやりたいなと思い始めました。この建物は間違いなく子どもたちのための図書館なのだと思えない想いをもち続けないと、どこかでポキリと折れてしまいそうな気がしました。



この降って湧いた「将来的に2階建てにする構想」整理すると、すでに天井部分に置かれたブロック（2階部分の床）は水洗トイレ代の見積もり請求に入っているため（コントラクターとのやり取りで知り水洗トイレに関しては聞いていたけれど2階を将来的に作るとは何も聞いていないと感情的にやり取りをしてしまいました。）これについての請求は無いので問題はないのですが、ガーナ流に言うとその“将来的に上に構築する建物”はアルミルーフ（屋根）がつかないままでも使用できるので屋根をつけないまま完成とされる恐れがあるのです。それに関して、昨日（7月9日）夜遅くまでコントラクターとワッツアップでやり取りをしましたが、私の希望である「緑色のアルミルーフをつけて完成させる事」に関しては返事は現段階ではありません。「郷に入りては郷に従え」を受け入れるなら、アルミルーフ無しで完成と認めなければなりません。また「水洗トイレはトシコしか使わない」問題をどう改善すればよいのか解決策を考えないとなりません。私は完成時には一つだけだけでも、それを先生はじめ女子生徒に使ってもらいたいという思いです。学校の穴あきトイレはそ

ここに行くまで栄養不足や病気を思わせるゆるい糞が落ちていてとっても不衛生なのです。村に到底不可能とまで思っていた水洗トイレが図書館建設時に作れると思い、とっても嬉しく思いました。私だけの使用目的にはしません。



図書館入り口には結局ペロニカバケツが置かれることに。

水洗トイレ付図書館は、SDGs の【6安全な水とトイレを世界中に】を実行できるプロジェクトだと私は考えます。ガーナにおける図書館のモデルケースになる図書館を目指していることは間違いありません。ガーナではこの SDGs を知らせるロゴはアクラの政府関連の建物の塀に描かれてあります。また写真のサークルロゴは BANK OF AFRICA が設置したものでアクラ市内にあります。どれだけの人がこの SDG を周知しているかは不明ですが、アフィフェの小さな小さな図書館でもこの取り組みが出来ることが証明できる図書館の使われ方が出来る日を目指して“そうは簡単に物事を進ませない妖怪”に心折れないように進みます。



先生にもたくさん絵本を読んでもらえる図書館目指して

水洗トイレ付図書館プロジェクトサポーター 一般社団法人ギブアウェイ様